

図書館建設事業について



香月 正則

市街地における鳥獣被害について

香月 イノシシや猿等が自宅周辺に出没し、夜間など特に危険を感じているという声を聞きますが、人的被害は発生していないか。

答弁 人的被害について報告は上がっていません。

香月 非常に皆さん危惧されているが、対策の必要性については。

答弁 住宅地において、イノシシ、猿の目撃情報を受けた際には、庁内で策定しているマニュアル「住宅地での野生ザル及びイノシシ出没に関する庁内対応について」に基づき、各関係部署が警察や学校等の関係機関と連絡を密にとり、連携を行い、市民への注意喚起、監視、捕獲、山に追い返す等の対応に当たっています。

香月 イノシシが掘った溜池の法面が崩れかけています。法面の上が道路になっており、危惧する所もあるので認識をお願いしたい。

市内の商業との連携

香月 市内企業より開発等に資金を使いたいとあるが支援等は何かあるか。

答弁 国や県が募集している補助金の申請などについては市商工会が、支援しています。

香月 商業エリア一帯の活用、支援についての取り組みはされているのか。

答弁 駅前中心市街地では、周遊する交流人口増を目的として、多久市元気プロジェクト事業によるウォールアートプロジェクトや、荏原商工連盟が毎月第2日曜日に「あいぱれっと」で開催している軽トラ市に商工会、たく21が協力、連携しています。

香月 市内で活動されている団体が元気になっていくことが、多久市にとって大きく一歩進んでいく活力になると思います。よく情報交換等をしていただき色々な支援をお願いしたい。



中島 慶子

高齢者支援の充実について

中島 市内老人クラブの現状は。

答弁 9クラブに833名の方が加入されています。健康講座やスポーツなど多様な活動に参加されています。

中島 天山多久温泉タワア内の交流スペース「彩り」について、利用が低迷しているように思うが、楽しめる取り組みがされていないのでは。また、福祉施設として行政の動き、人員の配置など必要ではないか。

答弁 福祉サイドとタワアでは不定期に協議を行っていますので、ご意見等伝えて協議、検討していきたいと思えます。



平常時における防災体制について

中島 防災リーダーの育成は。

答弁 佐賀県地域防災リーダー養成講座により、38名の方が防災リーダーとして登録されています。地域の防災リーダー研修会において、講演や災害における図上訓練を実施したほか、関係機関による防災訓練を実施しています。

中島 全学的な防災訓練の実施は。

答弁 住民参加型の避難訓練、避難所運営訓練の実施を検討しています。

中島 防災教室の実施は。

答弁 市の職員が出向き各種団体の会合参加者や、児童センターの利用者に向けて実施しました。

中島 資機材購入費補助金制度は検討できないか。

答弁 地域コミュニティ助成事業を活用して対応したいと思えます。

中島 避難所の運営にも訓練が必要ではないか。

答弁 地域防災計画において、避難者情報の把握や開示、生活環境の維持、男女双方の視点への配慮など、細かく想定して規定しています。

中島 避難行動マニュアルの作成と啓発は。

答弁 製作中のハザードマップの中で啓発をして安全確保に努めています。

議案乙第42号 平成30年度多久市一般会計補正予算(第5号)に対する議案審議

田淵 厚・野北 悟

質問 建設事業費と運営に係る年間費用の試算額は。

答弁 建設、図書購入及びシステム導入費等で約7億8000万円、進入道路や緑地等の整備で約2億円、総額9億8000万円。また、年間予算については、図書購入及び経常経費、サービス運営費用を6600万円から7500万円と試算しています。

質問 基本設計の予算を認めた時点で事業全体が止まらなくなる。全体の予算枠を明確に示して事業を進めるべきではないか。

答弁 事業全体を認めることになるのではないかと指摘だと思えます。全体事業費を提示することは必要だと思えますが、9億円の試算を出しています。上乗せして10億円、12億円の債務負担行為を行うのはおかしいので、議決されれば、実施設計から建設費の債務負担行為を行うよう考えています。

質問 人口が減少していくと試算されている中で、財政負担の部分もあるが、現在ある公共施設をどのように配置して、人の流れや賑わいを創っていくか、街づくりの観点からの検討が十分ではなく、現状では賛成できない。

答弁 平成28年度に策定した公共施設

設の総合管理計画がそれにあたることを認識しています。平成27年度に保有している建物について40年間に係る経費を理論値として示している状況です。今回、将来にわたる効率的な運用、負担の平準化を目的として平成30年から32年にかけて主要な施設については個別に具体的な耐用年数等を調査させていただきます。個々の内容については今後、検討をしていきます。

議案乙第42号 平成30年度多久市一般会計補正予算(第5号)に対する修正案

提案者：榊島永二郎

【修正案】

図書館建設事業に要する、基本設計委託料1254万6千円、基本設計支援業務委託料378万円、及び図書館建設事業に要する経費51万6千円の全額を削除するものです。

《提案理由》

今後、市立病院の建て替えや、国民スポーツ大会に向けた弓道場の建設整備及びその後の維持管理、多久駅周辺土地区画整理事業の終結に向けた取り組み、広域グリーンセンター建設に伴うスポーツ・レクリエーション施設の建設、北多久公民館をはじめとする老朽化した公共施設の建て替えや改修などの課題が山積していることから、なぜ今、図書館建設が必要なのかとの意見があります。

【修正案に対する反対討論】

討論者：飯守康洋

新図書館建設関係予算を削除した理由が、全て将来の市の財政運営を懸念するものです。執行部との情報交換会において、中期財政計画、今後の財政見通しが示され、図書館、市立病院、弓道場は、主要事業に位置づけられ、それぞれ国県補助金や過疎対策事業債などの市債を活用し、事業費の実質負担は抑制されることと説明がありました。

また、平成29年度の経常収支比率が99・5%と非常に高い中で毎年6000万円以上の経費は財政に及ぼす影響が大きいと思われま。

高齡化が進み人口が減少する中、公共施設の建設については街づくり全体の中で施設の再配置、統廃合、複合化について十分に審議し計画を立てていく必要があると考え、今回提案の図書館建設事業は認められなると判断して修正案を提案します。

【修正案に対する賛成討論】

討論者：田淵 厚・國信好永

市の公共施設は現在102施設、築30年以上の建物は42施設あり、その中に避難所に指定された施設が4カ所あります。今後40年間の公共施設改修・更新費用の推計として565億円が見込まれ、道路などの維持費は同額を超える見込みです。また、老朽化によるリスクや維持管理費の増大も財政を圧迫します。

少子高齡化、急激な人口減少の中、現在ある公共施設の老朽化等を考え、皆が一緒に寄り集う施設としての複合化や、効率的な施設は何かを考え議論すべきだと思います。

現在の施設にしても、補修や改修が必要となる箇所は多く、そうした改修が十分でない中、新しい建物を建て、維持管理費が膨大になるような状況は市民としても納得できないと思えます。

次世代に可能な限り負担を残さないために、公共施設の効率的、効果的な適正配置、運営を再考する必要があると思ひ、修正案に賛成します。

※修正案は賛成多数により可決されました。修正議決された部分を除く原案については全会一致で可決されました。